

団体名

覚王山コミュニティ・アーカイヴ

団体概要

覚王山商店街の春・夏・秋の祭りを中心に、覚王山エリアの様子を写真・映像（アーカイヴ）として収集し、上映会で共有する。それを通じて、商店街の新旧店舗の交流の活性化を図り、覚王山エリアの文化的・経済的発展を目指す。

活動名：覚王山商店街のビジュアル（写真・映像）アーカイヴの収集と活用を通じた商店街文化の醸成

1 活動の目標をどの程度達成できたか

→当初目標としていた「覚王山商店街の春・夏・秋祭の様子を写真・映像記録として収集する」については概ね達成できたものと思います。また「記録映像を商店街で実施する」についても2020年1月31日〔金〕に実施することができました。



2 活動の成果

地域住民の評価という点でいえば、まだ十分に活動が周知されていないという側面もありますが、理事長をはじめとする商店街組合の方や覚王山祭の実行委員の方、および研究者からは良好な評価を受けています。また、この活動で制作したビデオや写真が覚王山祭の公式サイトで利用され、実店舗でも展示されています。さらに、参加者（主に大学生）の満足度は非常に高く、次年度以降の継続的な参加に意欲を見せている人が多いです。また、中日新聞（2020年1月30日、市民版）にも活動が取り上げられました。



3 目標達成のために努力したこと(工夫)

活動の継続性を重視するため、活動に参加する記録者の自主性やそれぞれの得意分野を考慮しながら、作業を分担して記録活動に当たっていきました。また、記録作成における簡易な共通フォーマットを用意しました。これにより、参加者に対しては、撮影や編集にあたっての必要最低限の方針を示しつつ、地域住民の方々の関心をひく映像を作成することができたと考えています。

また、実際の撮影現場では参加者の自主性に任せながらも、事前に覚王山祭実行委員会の方々と調整は十分に行い、各回で重点的に撮影すべきポイントのリサーチを行い、その情報共有をしていました。

4 活動で得た学び(みんなに伝えたいこと)

映像表現にあたっては、当然のことながら音声も場の雰囲気伝える上で重要で、上映会でもこれを指摘する方がいらっしゃいました。今後はこれを担う人員を配置したり、参加者が勉強できるようにしたいと考えています。

また、商店街の住民・商店主の方々に対する活動の周知がまだ十分でないため、年度末の報告会以外に、個々の店舗へのアプローチや協力依頼、そのほかリーフレットなどによるPR活動を可能な範囲で展開したいと考えています。

さらに、今後の活動として、これまでに行ってきた覚王山祭りの記録・上映に加え、縁日や日常の様子撮影、各商店へのインタビュー撮影を実施し、コミュニティ内の人々の顔が見えるメディアデザインを行っていきたいと考えています。加えて、それと連動して、作成した記録映像をweb上で公開したいです。

